スイスでの交流を通して学んだこと

岩佐瑠莉

私は 8 月 23 日から 8 月 29 日までの 5 泊 7 日間、スイスでの国際交流事業に参加しました。今回の交流では、現地の中学生との学校交流やホームステイ、観光などを通して、日本との文化や生活の違いを知り、多くのことを学ぶことができました。

ホームステイでは、エレナさんの家族にお世話になりました。最初は言葉や生活習慣の違いに不安がありましたが、家族の皆さんが温かく迎えてくださったおかげで、安心して過ごすことができました。また、エレナさんとハイキングをしたり、一緒に時間を過ごしたりする中で、言葉が違っていても、相手を理解しようとする気持ちが大切だと感じました。

学校交流では、現地の中学校で授業に参加し、日本の文化について発表しました。習字やソーラン節、太鼓を披露し、日本の伝統文化を紹介することができました。特に、英語で発表するときは緊張しましたが、自分たちの文化を伝える貴重な経験になりました。また、現地の生徒たちと交流する中で、学校の施設や授業の様子など、日本との違いにも気づきました。

観光では、ツェルマットやチューリッヒ、ベルンなどを訪れました。特に印象に残ったのは、スイスの雄大な山々です。日本の山とは異なる険しい岩肌が見られ、自然の壮大さを感じました。実際に現地を訪れたことで、写真だけでは分からない景色や文化の魅力を知ることができました。

今回の交流で最も学んだことは、自分から積極的に話しかけることの大切さです。初めは言葉の違いを気にして不安でしたが、自分から話しかけることで、現地の中学生との距離を縮めることができました。完璧に話せなくても、伝えようとする姿勢が交流につながるのだと実感しました。

この経験を通して、異なる文化を理解し、相手を尊重することの大切さを学びました。これからもさまざまな国や文化について学び、自分から積極的に人と関わる姿勢を大切にしていきたいです。そして、今回出会った人たちとのつながりをこれからも大切にしていきたいと思います。